

# YAMAGATA CITY TOPICS



▲長崎市で被爆者取材の様子



## 文化財の魅力発信を強化

市では3人目の「地域おこし協力隊」に、伊藤なつみさんが就任しました。伊藤さんは、千葉県出身。芸術大学で培った経験や学芸員の資格を生かせると思ひ、文化財保存活用地域おこし協力隊に応募したとのこと。

東北の自然豊かな環境に憧れ、山形市で活動できることに喜びの表情を見せていました。これから、郷土館を中心に山形市に残された貴重な文化財の魅力発信していきます。

## 霞城公園さらなるにぎわいへ

4月8日から霞城観桜会が行われました。霞城公園のライトアップや4月13日・14日に開催された山めん寒ざらしそば賞味会や風流花見流しなど、春の訪れを感じようと、多くの家族連れや観光客でにぎわいました。

4月14日に行われた山形城VRツアーでは、江戸時代中期の山形城を再現したVR・ARを体験してもらいました。霞城公園内のスポットに行き、専用アプリを利用することで誰でも体験できますので、ぜひご来園ください。

## 次世代の平和の担い手に

核兵器廃絶を訴える日本非核宣言自治体協議会が主催する「親子記者事業」に東北ブロック代表として参加した土橋怜生さんと明晃さんが、3月25日に長崎市での活動を市長に報告しました。被爆者への取材やフィールドワーク

を通して、「原爆の悲惨さを改めて感じた。同世代にも平和の尊さを伝えていきたい」と語った怜生さん。作成した記事は非核宣言自治体協議会ホームページをご覧ください。年度の事業募集はP.17へ。

